

学校通信

No. 29 令和4年3月1日（火） 鈴鹿市立白子小学校

6年生を送る会 ～6年生の皆さん、今までありがとう！～

2月18日（金）、6年生を送る会を行いました。この日に向け、5年生が一生懸命、計画・準備をし、当日は5年生による司会進行の下、プログラムに沿って進めてくれました。まん延防止等重点措置期間のため、1～5年生の出し物だけは、事前に録画をしたものを体育館のスクリーンに映し、6年生が視聴するという形になったのは、残念ですが、とても素晴らしい会となりました。この時の様子を写真とともに、紹介します。



（上）この日のプログラムです。5年生が感謝と祝福の気持ちを込めて華やかなものに仕上げてくださいました。

（右上）司会進行をする5年生。6年生入場から退場まで、スムーズに進めてくれました。温かな雰囲気を創り出してくれ、感動を味わうことができました。



（上）6年生の入退場時に、「威風堂々」の演奏をする5年生です。入退場の雰囲気にぴったりなこの曲に合わせ、より一層6年生の堂々とした姿を引き出してくれました。

（上）6年生入場時に、キャットウォークからスポットライトを当ててくれる5年生。送る会を盛り上げるために、このように裏方としての役割を果たしてくれる5年生の存在は大きいです。



(左・下) 6年生の入場の様子です。ステージ上に立つと、司会の5年生が6年生の名前を呼び、「はい。」としっかり返事をします。その後、お花のアーチをくぐって、席につきました。少し照れながらも、嬉しそうな様子を見ると、感慨深いものを感じます。



6年生



(上) 6年生全員の入場を終え、5年生が開会の言葉を言う時の6年生の様子です。一人ひとりの首には、1年生からのプレゼントのペンダントがかけられています。

和やかな雰囲気の中にも、場面に合わせて、ピリッとした真剣な空気を感じられました。状況を感じ取って、切り換えができるのも高学年らしい姿ですね。



5年生

(左) 中川敢太さんの「はじめのあいさつ」です。「終わりのあいさつ」は唐松拓睦さんが言いました。6年生に向けた感謝の気持ちと、送る会を楽しんでほしいという願いをしっかりと伝えることができました。

ステージに飾られている大きな壁面飾りは、5年生みんなが作りました。ピンク色に染まった桜の木の根元に黄色いタンポポが広がっている様子を現しています。春らしい優しい風景がとても素敵です。



6年生

(上・左) 各学年の出し物の動画を見ている6年生の様子です。生で見ることができなかったのは残念でしたが、様々な角度から撮影された動画を優しい眼差しでじっと見つめる6年生の胸には、様々な思いがあったのではないのでしょうか。



6年生

各学年の出し物

- 1年生:「ありがとうがいっぱい」(歌・ダンス) 2年生:「OLA! 6年生に会えてよかった」(ダンス)
3年生:「南中ソーラン」(ダンス) 4年生:「ありがとう6年生」(合奏)
5年生:「威風堂々」(入退場 合奏) 6年生:「いのちのうた」(合唱)

1年生



2年生



3年生



4年生



6年生



(上) 各学年の出し物を視聴した後、6年生からの出し物をしました。1～5年生に向けて、「素晴らしい出し物、ありがとう。」と両手で大きな〇を作ってくれました。その後、合唱「いのちのうた」で、綺麗な歌声を聞かせてくれました。

(下) 出し物が終わりましたら、5・6年生による「伝統の灯を受け継ぐセレモニー」、送る会のクライマックスです。まず、6年生が「白子小学校の伝統の灯を少しずつ大きくしてきました。この灯を5年生に渡します！」と伝え、5年生が「これからは私たちが伝統の灯を引き継いでいきます。」と力強く答えました。6年生は卒業への思いを、5年生は白子小の最高学年になるという思いを新たに感じた瞬間だと思います。



(左) 退場の際は、写真のような素敵な退場門が設置されました。これも、5年生が作ってくれたものです。5年生による「威風堂々」の合奏の中、この門をくぐって、6年生が退場し、「6年生を送る会」の幕を閉じました。